2016年3月24日
日本空港ビルデング株式会社

# 片岡鶴太郎氏と小山薫堂氏によるコラボレーション作品を展示
# 「旅する日本語展」開催！

片岡鶴太郎

小山薫堂

旅する日本語展

展示場所（第1旅客ターミナル2階 出発ロビー）

日本空港ビルデング株式会社は、「旅する日本語展」と題し、国内線第1旅客ターミナルで旅にまつわる美しい日本語と旅情感あふれる絵画を組み合わせた羽田空港オリジナルアート作品展を開催します。

作品は、俳優・画家である片岡鶴太郎氏と放送作家・脚本家である小山薫堂氏のコラボレーションによるもので、出発ロビー上部の壁面（大型電照式看板24面）をダイナミックに使い、全11点を展示します。羽田空港へお越しの際は、ぜひご覧ください。

【概　要】
- 期　間　2016年4月1日～ 2017年3月31日 ※終了時期は変更となる場合があります
- 場　所　国内線第1旅客ターミナル2階 出発ロビー
- 主　催　日本空港ビルデング株式会社

【プロフィール】

片岡鶴太郎（俳優・画家）

1954年12月21日東京都生まれ。高校卒業後、片岡鶴八に弟子入り。3年後、東宝名人会、浅草演芸場に出演。その後、バラエティー番組を足掛かりに広く大衆の人気者になり、日本アカデミー賞最優秀助演男優賞など数多くの賞を受賞。画家としては、1995年に初の絵画展「とんぼのように」を東京で開催。2001年、初の海外個展をフランス・パリにて開催し、好評を博す。2003年～2005年には、NHK趣味悠々「鶴太郎流墨彩画塾」にて墨彩画の極意を伝授。2011年、初の本格的仏画を出展。2014年より、個展「還暦(かんれき)紅(くれない)」を全国で巡回開催中。2015年3月、書の芥川賞といわれる「第10回手島右卿賞」を受賞。同年7月、第32回産経国際書展にて「産経国際書展功労賞」を受賞。画業を積み重ね、その心に奏でられた色彩は多くの人々を魅了している。

小山薫堂（放送作家・脚本家）

1964年6月23日熊本県天草市生まれ。「料理の鉄人」「カノッサの屈辱」等斬新なテレビ番組を数多く企画。初脚本となる映画「おくりびと」では第32回日本アカデミー賞最優秀脚本賞、第81回米アカデミー賞外国語映画賞獲得をはじめ、国内外で高い評価を受けた。執筆活動の他、下鴨茶寮主人、東北芸術工科大学企画構想学科長を務める。くまモンの生みの親でもある。

【 本件に関するお問い合わせ先 】
日本空港ビルデング株式会社 経営企画本部 広報部 広告・イベント課
TEL：03-5757-8520（9:00～17:30）※土日祝日除く